

素晴らしい360度の展望を楽しんだ

北アルプス 五竜岳 春山山行

2017年5月3日(水)夜～5月6日(土)

<参加メンバー> 3人(男性2人、女性1人)

<天候> 5/4、5は晴れ、5/6は曇り後雨

<コースタイム>

- 5/3 大阪梅田発(アルピコ夜行バス) 21:40 発
- 5/4 JR松本駅6:00～松本駅発6:27～大町駅7:15～(タクシーにて)五竜スキー場着8:20、テレキャビン8:50～アルプス平9:00着(アイゼン装着後、山行開始)～地蔵の頭10:00～ノ背髪11:05～小遠見山11:45～大遠見山13:55(テント・トイレ・防風ブロック設営)～16:00 夕食(煮込みラーメン) 就寝21:00
- 5/5 起床4:00、出発5:45～五竜山荘7:45～五竜岳頂上9:20～下山開始9:55～五竜山荘11:15～テント場13:10(テーブルづくり・トイレ補修)、夕食(麻婆春雨・海草サラダ)17:00 就寝20:30
- 5/6 起床4:00～テント撤収～下山開始5:40～アルプス平7:45～テレキャビン8:00～エスカルプラザで休憩後タクシーで温泉へ9:50～飯森駅12:30～松本駅14:20～しなの16号14:53～名古屋駅17:01～新幹線乗換え～新大阪駅着18:03

<山行の概要>

会の春山合宿として次に繋いでいくために北アルプスの本格的雪山の経験をしてもらおうと計画したが、やむなき事情により参加メンバーは3人のみとなった。

ゴールデンウィークのため現地までの夜行バスの確保などに苦労したが、何とか天候にも恵まれて無事に山行を終えることができた。

初めて参加の二人は本格的雪山登山の醍醐味を味わい、稜線や頂上からの素晴らしい展望にも恵まれて良い経験ができたのではないかと勝手に思っている。

この山域は3回目であるが、春山のこの時期は雪山初級から経験を積んできた人には、レベルアップをはかるのにちょうど良い山域、ルートであるといえる。ただし、天候次第であるが……。次は、会として以前にやったが唐松岳から五竜岳へと縦走でやってほしい。

今年も大遠見で幕営したが、7～8年前は貸切状態であったのが7～8張のテントがあった。雪山を楽しむメンバーが健在なのは良いことだ。

小屋も良いが、雪の上で寝るのも楽しいものだ。来年はもっとメンバーを増やして行こう！



1. テレキャビンのアルプス平駅に到着



2. リフト終点から地蔵の頭間は土が露出していた



3. 地蔵の頭 ここからは360度の大パノラマ



4. 五竜岳をズームで遠望する
頂上直下の武田菱の雪形がくっきりと見える



5. 「ノ背髪」に到着 しばし小休止



6. 小遠見山 ここも360度の大パノラマ
後立山連峰の爺、鹿島から白馬三山までくっきり見えた



7. 左に鹿島槍ヶ岳、右に今回登る五竜岳を遠望する。手前がこれから辿る遠見尾根



8. 細い尾根を辿る



9. 雪の斜面をトラバースする



10. 中遠見山に到着



11. 五竜岳がだんだんと近づいてくる



12. 幕営予定の大遠見山に到着し、新品のエスパーステントを設営する



13. 雪の立派なトイレも作った



14. 金隠し付きの便座です



15. 翌5日のご来光 荘厳であった



16. 朝日を背に五竜岳をめざす



17. 遠くに富士山、八ヶ岳、南アルプスが見える



18. 双耳峰の鹿島槍ヶ岳が美しい



19. 五竜岳がいよいよ迫ってきた



20. 黒い覆面女はいったい何者ぞ！



21. 武田菱マークの五竜山荘に到着 覆面女の正体は？



22. 五竜岳へのルート
小屋付近は夏道が露出していた



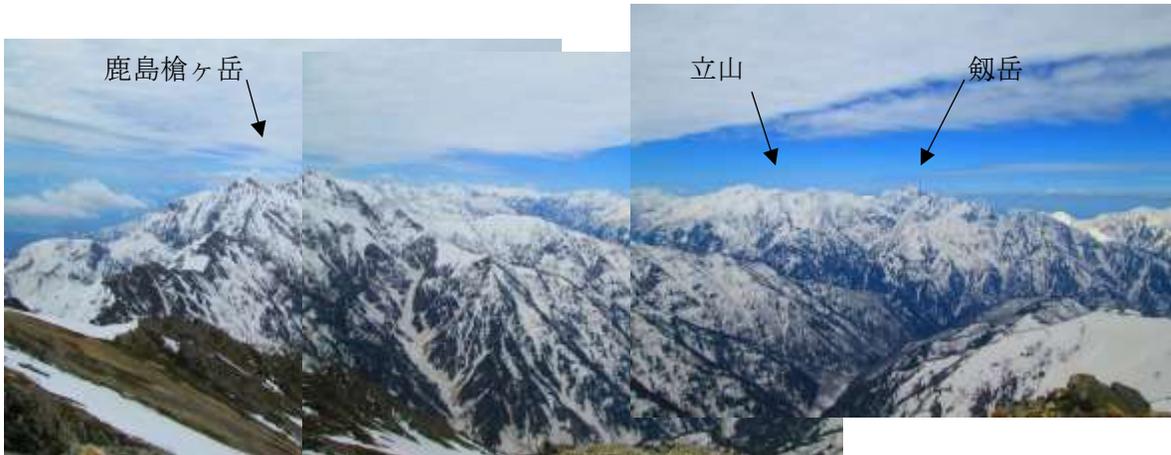
23. 頂上まではトラバースルートが結構ある



24. 頂上近くの雪の急斜面 今回は比較的雪がしまっており、トレースもしっかりして登りやすかった。



25. 五竜岳頂上に到着
穏やかな天気で、素晴らしい展望だった



26. 五竜岳頂上からの素晴らしい展望 元気に生かしてもらっているという幸せを感じました 感謝



27. 雪の急斜面を下る。ビレイ用にロープを持ってきていたが今回は使わなかった



28. 無事、五竜山荘まで下山



29. 雪の遠見尾根にはなぜか？緑のカメムシが何匹もいた なんてだろ～



30. テント場に到着 本日の行動はこれで終了



31. 6日の下山日 テントを撤収して、パッキングして、さあ五竜岳ともお別れだ



32. 五竜岳のピークは雲の中となり、暫くして雨に見舞われたが、無事下山した おわり